



編集・発行
各務原市社会福祉協議会
那加一支部より編集委員会
支部だよ

最近感じたこと

那社会福祉協議会
那加一支部長

前田常夫

日本の国の高齢化も年とともに進み、現在では六十五歳以上の全人口に占める割合は、国十四・一%、県十四・八%、市十・七四%です。国も予想より早い高齢化に伴い、これに対応するため、平成元年十二月につくられた高齢者保健福祉推進十カ年戦略（ゴールドプラン）を見直した新ゴールドプランがスタートしました。それによりますとホームヘルパーの増員、在宅ショートステイ、デイサービスセンターの増設、二十四時間対応ホームヘルパーの創設など、在宅福祉を重視し国民の願っている方向に進みつつあると思います。

県でも、昨年知事が福祉の先進国ノルウェー等を視察され、その後新しい施策が検討されているようです。市や社会福祉協議会も、市の実態と住民の要望に基づいて施設や事業が立案されています。

大変喜ばしいことは、昭和四十八年以降減り続けていた日本の出生者数が、平成六年は二十一年振りに増加したことです。平成六年の出生者数は百二十三・五万人で、前年より五・五万人増えました。千人当たりの出生率も九・六人より十人と上昇しました。

第四回老人クロッケーゴルフ大会 十一月十六日

今年で第四回を迎えた老人クロッケーゴルフ大会は、十一月十六日晴天に恵まれ、新加納日吉神社境内にて那加一校下の老人クラブより十五チームが参加し、盛大に挙行されました。

当日の成績は、団体一位新加納Aチーム、一位西市場Aチーム、三位前野Bチームの皆さん。個人は一位小川次郎さん、二位坪内雄三さんでした。



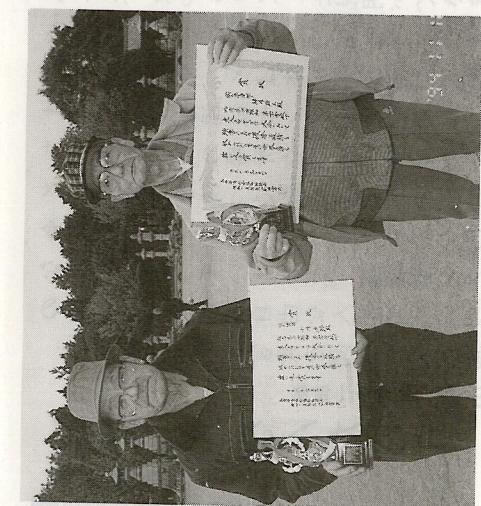
▲優勝した新加納Aチームのみなさん



▲準優勝した西市場Aチームのみなさん



▲3位の前野Bチームのみなさん



各務原市社会福祉協議会
那加一支部より編集委員会
支部だよ

- ひとり暮らし老人を囲む会 十月六日
那加西福祉センターを会場に、ひとり暮らし老人二十余名の参加を得て実施しました。今年、那加一小・那加保育所に参加していただき、すばらしい演技を披露し、お年寄りを慰め励ました。また、昼食は婦人会・民生委員の方々に作っていただいた手作りの心のこもった料理に舌づみをうちながら、楽しい一日を過ごしました。
- 共同募金・歳末たすけあい募金の実施 十月皆さまに大変ご協力をいただきまして、那加一校下全体では共同募金七八三、八四〇円、歳末たすけあい募金は四四二、五三〇円となりました。ありがとうございました。
- 第四回老人クロッケーゴルフ大会 十一月十六日
- 歳末福祉座談会 十一月二十五日
- 友愛訪問の実施 十二月十九日～二十二日
社協役員と民生委員で、校下二十三名のねたきり老人と、十五名の九十歳以上の高齢者を訪問し、慰問品を渡し激励しました。
- なたきり老人食事サービス 一月十八日
- 高齢者健康づくり教室 一月二十四日
- 第三回理事会 三月三日
- 告等 平成六年度支部社協、事業報告、収支決算報告
- 第二回支部総会 三月十一日
平成六年度支部社協、事業報告、収支決算報告
- 告等
- 支部社協だより第十四号発行 三月十五日

13

し、実施いたしました。
講師に在宅介護支援セーバーの佐
招きし、介護セーバーや市の老人施
しや利用についてのお話を聞きました。

十一月五日在東京藤山人斎の邸にて
十二月余名出時之に付ねたきり

がありました。
にして、利用しや
って複雑で分か
最後に出席者
いたしました

身じとも疲れ困つてゐる集態につ、佐藤さんから適切な助言も
かる、市の老人施設の利用につ
かる單車で、できるだけ簡単

歲末福祉座談會



▲糠塚先生(右)のかけ声に合わせ体を動かします

私は福祉社といふ言葉を使つてあるけれど、体の不自由な人についてのことでははないかと思つていました。福祉センターや福祉会館や福祉フェスティバル、みんな同じ「福祉」だけのために場所やフェスティバルではあります。私も福祉センターを利用していまして。ただから「福祉」とは体の不自由な人のことだけ書くわしく調べてみたら「多くの人々の幸せ」書書いてありました。私の考え方とはぜんぜんちがつてびっくりしました。辞書の意味から考えると、福祉センターとは、多くの人々の幸せを願うための場所だと分かりました。

私は四年生のとき、福祉事業の一つとして車いすの体験学習をしました。始めての車いすだけ自分でドキドキしました。車いすにのつてみたのに自分が大変だったと感じたところはございませんでした。うで全体ど手がとくに自分の思うようにういくてくれません。どちら自分の思つたど感じたところはございませんでした。

那加一小五年 橫山仁美

■ 福祉作文の説明

福祉ってなんだろ？

お元気ですか
実施問訪愛友

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 19 \\ \hline 22 \end{array}$$

ねたきり老人宅へ 手作り弁当 1/28

たきり老人までお配りいたしました。
那加一校下の一一二名のねたきり老人からは
大歎喜はれました。

那加一農協婦人部の方々に作っていたいた
お年寄り向きの料理を、社協役員にて民生委員
宅まで届けていたたき、民生委員より町内のね

し、実施いたしました。
講師に在宅介護支援センターの佐藤さんを招きし、介護セミナーや市の老人施設のあらじ利用についてのお話を聞きました。

員さんがおられる老人の配達しました

今年初めて、那加一校下の九十五歳以上の高齢者十名に、社協役員が慰問品のお菓子を持ちて訪問し、激励しました。訪問した高齢者の中には、餅を切ったり、草花の手入れをしたり元気な方もおられましたが、ねたきりの方もいらっしゃいました。十五名の中、男性七名、女性八名でした。最高齢者は前野町の津田きぬよさん。明治一十九年生まれの九十八歳。男性では、前野町の高島田助さん、明治三十六年生まれの九十一歳でした。

A black and white photograph capturing a moment between two people. A man in a dark, button-down shirt stands behind a woman seated at a table. He is looking down at her, and his hands are near her shoulders. The woman has dark hair and is wearing a light-colored top. The setting appears to be an indoor establishment like a restaurant or bar, with a window visible in the background showing a car parked outside. The lighting is somewhat dim, creating a candid atmosphere.

A black plastic bento box divided into compartments. The top compartment contains white rice. The bottom compartment is further divided into four smaller sections: one with shredded vegetables like carrots and daikon, one with meat or fish, one with a white substance (possibly mayonnaise or cream cheese), and one with a dark, leafy green vegetable.

▲農協婦人部のボランティアさんがお弁当を作ってくれます

